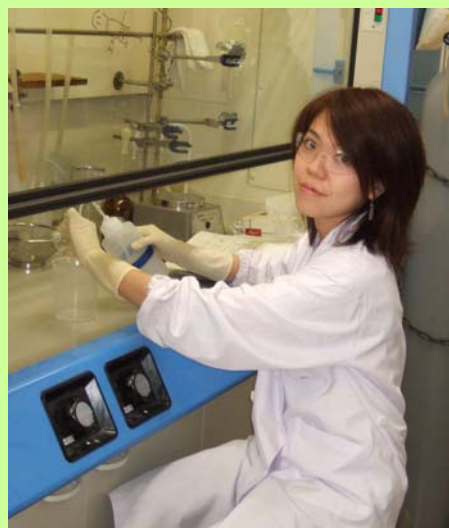


岩佐 江梨子(いわさえりこ)

埼玉大学大学院 理工学  
研究科 博士後期課程1  
年

平成19年度より袖岡有機  
合成化学研究室にJRAとし  
て所属

生理活性が報告されてい  
る天然物の全合成を行うと  
ともに、より良い生理活性  
を目指して構造活性相関  
についての研究も実施。



## すばらしい環境で研究を続けるチャンス

### 【JRAに応募した経緯】

私は将来、有機合成化学を手法に生命科学の研究に携わること社会に貢献したいと大学に入学したときから思っていました。そのためには、より高度で専門的な知識と経験を積みたく、博士課程への進学を修士課程に進学する以前から希望していましたが、経済的な負担が大きいことに躊躇していました。長年の夢をあきらめずにすむ方法を探していた矢先、私が取り組みたいと思う研究をおこなっている研究室が理研にあること、そして理研のJRA制度を知り応募するに至りました。

### 【JRAとして理研において研究を実施したことにより、大学での研究では得られなかったこと】

理研は、実験設備が充実していることはもちろんのこと、周りには知識と経験を豊富に蓄積した研究者が学生よりもずっと多く在籍しており、大学では得られない良い刺激となって日々充実した研究生活を送ることができます。それと同時に、自分が将来どのような研究者になりたいかを具体的なイメージとして持つことができると思います。

また、他分野の研究、研究者との交流が多々あるので、自分の専攻する研究の分野だけにとらわれない、幅広い視野をもつことができるようになりました。

そのほかには、JRAとして勤務することで経済的な不安が解消され、両親から経済的に独立して生活することが可能になりました。経済的な面だけではなく、JRAとして勤務しているという責任感をもつことで、研究が思うように進まなくて挫けそうなときでも頑張ることができるといったメリットもあると思います。

### 【後輩へのメッセージ】

私は取り組みたいと思う研究をおこなうために、その結果として大学、修士課程、博士課程と違う研究室に在籍してきました。研究室を移る度に、新しい環境に慣れる苦労はありましたが、その苦労以上に実験スキルをはじめとする様々なものを得ることができました。なかでも理研は、実験設備やスタッフに恵まれており、研究環境としてこの上ない環境といっても過言ではなく、こうして今JRAとして研究に取り組めることを心から幸せに思っています。学生のうちから理研で研究に取り組むことができるJRAとして、みなさんも自分の目標にチャレンジしませんか？私も応援しています。

